

熊本県南阿蘇村復興支援特別企画

跡見学園女子大学・(株)ジャルパック・南阿蘇村・国土交通省九州地方整備局 共同リリース
跡見学園女子大学「篠原ゼミ」の学生とジャルパックが新しい旅を創る！

南阿蘇の観光資源の再構築 「立野峡谷」を新たな観光資源に活用 産学官連携「南阿蘇観光未来プロジェクト」

東京で観光を学ぶ女子大生と地元観光関係者による
第一回企画会議を開催！

日 時：2018年6月9日（土） 13：30～15：30（13：00 メディア受付開始）

場 所：南阿蘇村役場 会議室

（〒869-1404 熊本県阿蘇郡南阿蘇村大字河陽1705番地1 ）

跡見学園女子大学（東京都文京区、学長：笠原清志）観光コミュニティ学部観光デザイン学科「篠原ゼミ」は、株式会社ジャルパック（本社：東京都品川区）、熊本県南阿蘇村、国土交通省九州地方整備局と連携し、阿蘇地域の熊本地震からの復興を観光の力で支援する旅行商品の開発・販売を実現するために発足された「南阿蘇観光未来プロジェクト」の第一回企画会議および現地視察会を2018年6月9日（土）、南阿蘇村にて開催。ジャルパック商品開発担当者を派遣し、地元・学生・旅行会社それぞれの視点を融合させ、南阿蘇村が新たに造成する着地型旅行商品の開発を支援、そして商品化を行います。



潜在的な南阿蘇村の魅力ある地域資源を創造します。



全国各地多数の地域活性化実績を誇る跡見学園女子大学 篠原ゼミチーム



今話題のインフラツーリズム 完成を目指す立野ダムと阿蘇の大自然が融合

<プロジェクト概要>

大学生観光まちづくりコンテスト観光庁長官賞の受賞をはじめ、様々な観光企画コンテストで多数の優勝実績を持つ跡見学園女子大学篠原ゼミが、熊本地震の影響で観光客が大きく落ち込んでいる熊本県阿蘇地域の新たな観光振興の仕掛けを支援し、着地型旅行商品を企画。阿蘇の持つ潜在的な観光資源を掘り起こし、国土交通省九州地方整備局が5年後の完成を目指す南阿蘇村の「立野ダム」を、全国的に人気が高まっている「インフラツーリズム」の視点で魅力的な観光資源として整備・連動させていきます。さらに旅行商品の企画・販売を通じて国内各地の地域活性化を支援する旅行会社、株式会社ジャルパックが地元南阿蘇村・国土交通省九州地方整備局と協力して旅行商品を造成・販売することで域外からの誘客支援を図ります。2018年下期に向け、篠原ゼミ企画の阿蘇地域モニターツアーをジャルパックの制作支援により旅行商品化。2019年以降の継続的な着地型旅行商品展開に向けての実証実験を行います。

<商品形態>

販売: ジャルパック web 販売サイト専用商品

発地: 東京発およびJAL路線就航各地からの商品化を検討

設定期間: 2018年11月から2019年3月(期間中、1~2回)

※2019年以降の継続的な着地型旅行商品設定に向け、モニターツアーとして設定します。

対象エリア: 熊本県阿蘇地域

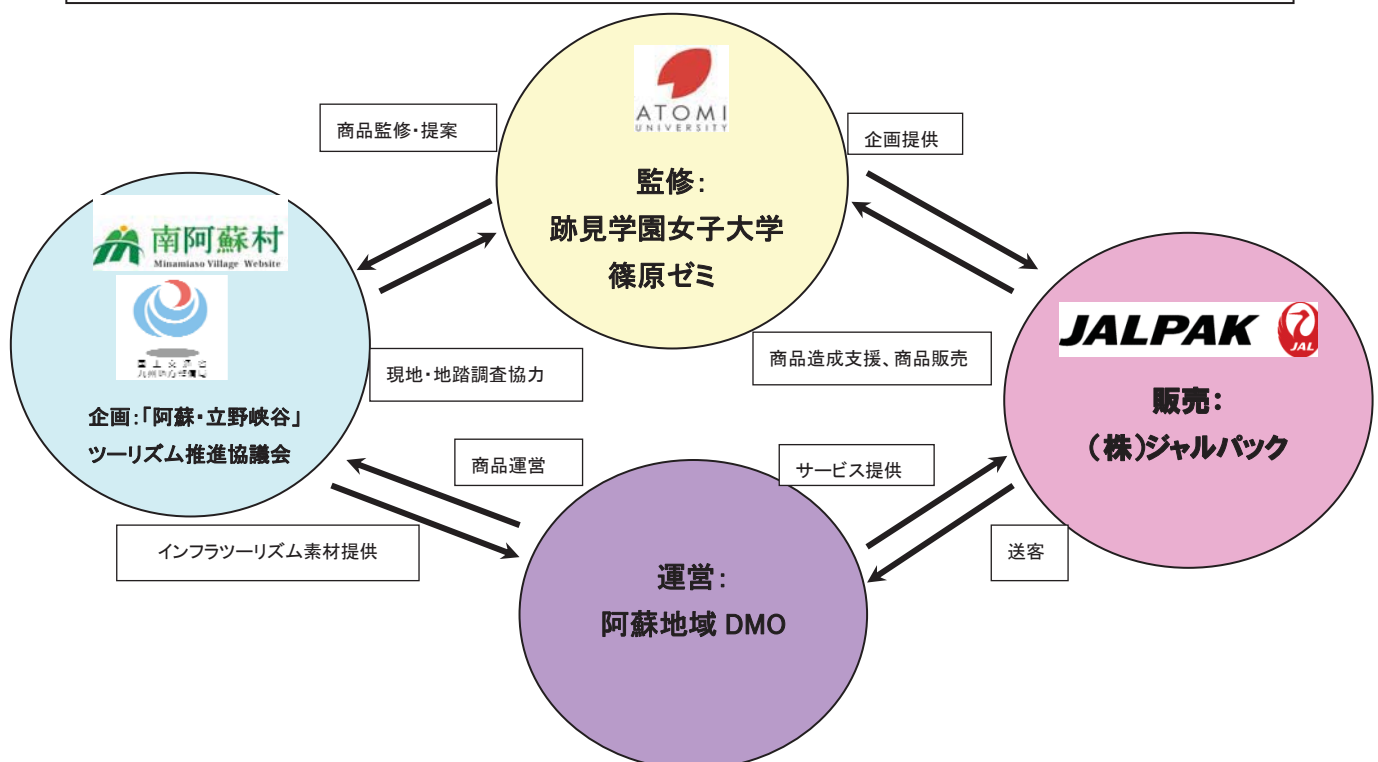
その他: 詳細についてはプロジェクト進行に応じ、今後確定していきます。

<本企画の産学官連携参加組織>

跡見学園女子大学・(株)ジャルパック・南阿蘇村・高森町・「阿蘇・立野峡谷」ツーリズム推進協議会・みなみあそ村観光協会・国土交通省九州地方整備局・九州旅客鉄道(株)・南阿蘇鉄道(株)・(株)あそ望の郷みなみあそ・阿蘇地域振興デザインセンター・ASO田園空間博物館

本商品は南阿蘇に眠る観光素材のブラッシュアップと立野ダムの新たなインフラ観光としての存在感の醸成、インフラと既存阿蘇地域広域の観光素材の有機的な連携を政府が推進する「公共施設の活用」の先進事例として「東のハッ場ダム」、「九州の立野ダム」と称されるよう、インフラ観光の先進モデルの構築を目指します。

産学官連携「南阿蘇観光未来プロジェクト」連携図



<本プロジェクトの年間スケジュール(予定)>

- ①5月24日(木): 東京でのプロジェクトキックオフ会議……………終了
(株)ジャルパック、跡見学園女子大学・国土交通省立野ダム工事事務所)
- ②6月8日(金)～: 第1回企画会議・現地視察
- ③7月: 第2回企画会議
* 篠原・学生先遣隊・ジャルパック(九州地区商品開発担当者)
- ④8月: (株)ジャルパックとの手配窓口を担当する運営 DMO の決定
- ⑤9月: 第3回現地視察: 篠原ゼミ生総勢約 30 名の女子大生が完成した旅行商品を事前モニター
- ⑥10月: 商品発売開始
- ⑦11月: 実証ツアー催行
- ⑧1月: 2019年度春以降の着地型商品の販売開始

<関係企業・組織概要>

●跡見学園女子大学

創業者・跡見^{かけい}花蹊の教育理念を継承する跡見学園女子大学は、時代と社会に対する深い洞察力を養成することが学問の府としての最大の社会貢献であると認識し、実践的な教養を備え、自律し自立した女性を育成するための教育・研究を実現します。

「観光コミュニティ学部」

政府が目指す観光立国日本を実現させるための人材の育成や東日本大震災の発生で地域コミュニティの重要性が見直されたこと、更には2020年の東京オリンピック・パラリンピックを機に我が国のグローバル化への期待が高まっていることをふまえ、「観光」と「コミュニティ」の両面から地域を活性化させることができる「デザイン能力」をもった女性の育成をめざし、2015年に開設しました。

●跡見学園女子大学 篠原ゼミの紹介と実績

全国各地の観光による地域活性化実績を有する篠原ゼミは「大学生観光まちづくりコンテスト」観光庁長官賞の受賞、「全国大学生海外卒業旅行コンテスト」全国最優秀グランプリをはじめ、様々な観光企画コンテストで多数の優勝実績を誇っています。指導教員である観光コミュニティ学部観光デザイン学科、准教授篠原靖氏は「内閣府クールジャパン地域プロデューサー」、「内閣府地域活性化伝道師」、「総務省地域力創造アドバイザー」をはじめ数々の政府の要職を歴任している観光による地域活性化の第一人者です。

●(株)ジャルパック

国内旅行、海外旅行のジャルパックは、これまで以上に「お客さま視点」を第一に考え、“旅のプロ”としてお客さま・旅行会社の皆さまから常に指名されるホールセール旅行会社を目指しております。新たな観光資源開発を行いながら地域連携による旅行商品の企画・販売を通じて国内・海外各地において観光による地域活性化を応援しております。

●南阿蘇村吉良清一村長のコメント

立野ダムを含む立野峡谷は南阿蘇地域でも観光資源として大きな価値があります。今回のプロジェクトで産学官が連携し、南阿蘇の地域振興を図りたいと思います。熊本地震からの創造的復興にも大きな後押しとなる取り組みであり、成果を楽しみにしています。

●国土交通省立野ダム工事事務所 鶴木所長コメント

国土交通省では、ダム建設現場において、現場見学を観光資源として活用する「インフラツアー」の取り組みを行っています。立野ダムにおいても、立野峡谷の自然環境とダム建設現場の見どころを連動させ、阿蘇観光の新しいニーズに応えられるような観光資源の掘り起こしを行い、地域の皆様方と一緒に阿蘇観光を盛り上げて行きたいと考えています。

＜「南阿蘇観光未来プロジェクト」第一回企画会議概要＞

1、日 時：2018年6月9日（土） 13:30～15:30（メディア受付13:00）

2、会 場：南阿蘇村役場 会議室

（〒869-1404 熊本県阿蘇郡南阿蘇村大字河陽1705番地1）

3、プログラムと内容

（1）参加者

●南阿蘇村および地元

吉良村長はじめ地元観光関係者

●（株）ジャルパック

国内企画商品第2事業部 九州商品造成 担当：アシスタントマネジャー 本間 准

●国土交通省九州地方整備局

河川部 河川情報管理官：前田 昭浩

立野ダム工事事務所長：鶴木 和博

●跡見学園女子大学

観光コミュニティ学部 准教授 篠原 靖

篠原ゼミ「南阿蘇観光未来プロジェクト」先遣隊学生5名

（2）本会議の目的

- ①これから始まる本プロジェクトの重要性を共有し、2019年3月までの目標を参加者全員で確認する。
- ②南阿蘇村の震災復興の現状と大打撃を受けた観光産業の現状を学び今回の着地型旅行商品開発の意味を知る。
- ③学生の企画案を共有。地元と意見交換をすることで、実施にあたっての方策を探る。

（3）プロジェクトの目的

- ①魅力的な観光資源を「インフラツーリズム」の視点で整備・連動させ新たな観光資源としての価値を高める。
- ②「阿蘇・立野峡谷」ツーリズム推進協議会が考案する着地型旅行コースを跡見学園女子大学篠原ゼミとジャルパック、さらには国土交通省九州地方整備局が協力し、イベントではなく年間を通して受け入れが出来る体制の確立を目指す。

2018年10月発売を目指し 商品開発中(イメージ)



◆報道関係者の方のお問合せ先◆

南阿蘇村役場 産業観光課長 倉岡 英樹 TEL:0967-67-1112
国土交通省 立野ダム工事事務所 工務課長 田脇 康信 TEL:096-385-0707

◆大学および具体的な産学官連携企画内容に関するお問合せ先◆

跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部観光デザイン学科 准教授 篠原靖
携帯 090-9315-7771 E-MAIL: ys_project.shinohara@ybb.ne.jp

観光資源の現地視察及び断層の説明看板の除幕式について

取材にあたっての注意事項

- ・ 現場等では、安全確保の観点から係員の指示があった場合は必ず従ってください。
- ・ 駐車スペースは限られているため、各社 1 台程度で可能な限り乗り合わせの上来場ください。
- ・ 現場入り口より必ずヘルメットを着用願います。ヘルメットは各自準備願います。
- ・ 自社腕章を各社で準備の上必ず着用願います。
- ・ 8 日は、受付の際に工事現場へ入るための「通行許可証」をお渡ししますので、車両のフロント面へ置いて頂き、入場の際に確認できるよう明示をお願いします。お帰りの前に受付の担当者へ必ずお返しください。
- ・ 取材中のケガ等については責任を負いかねます。

※予定であり、当日の状況により行き先は変更の可能性もあります。

6 月 8 日（金）【別紙-3 参照】

旧立野小学校グラウンド集合（13:30 出発）（13:00～13:15 取材受付）

- ① 立野ダム建設現場及び周辺の視察（転流トンネル、リムトンネル施工状況）
- ② 柱状節理、布田川断層露頭部の確認

（除幕式から取材の場合は 15:00～15:15 にコア倉庫前にて取材受付）

※13:30～の現地視察から引き続き取材の場合は受付不要

- ③ 「断層の説明看板」除幕式(15:30 前後)
- ④ 実生の森育成プロジェクト育苗箇所
- ⑤ 南阿蘇鉄道 犀角山トンネル 第一白川橋梁
- ⑥ アソシエイト展望所から立野峡谷を確認（17:15 終了予定）

6 月 9 日（土）

阿蘇グランフィリオホテル 8:00 発 （7:45～8:00 ホテルフロントにて取材受付）

<現地視察>

草千里展望所～地獄温泉 清風荘～高森駅

トロッコ列車：高森駅（11:30 発）→中松駅（11:51 着）

（昼休憩）

13:00 南阿蘇村役場 （会場到着 13:00～13:15 取材受付）

※8:00～の現地視察から引き続き取材の場合は受付不要

13:30～15:30 第一回企画会議 開催

<現地視察>

明神池～阿蘇白川水源駅～白川水源（17:00 終了予定）

【問い合わせ先】立野ダム工事事務所 工務課長 田脇 康信 [TEL:096-385-0707](tel:096-385-0707)

8日 現地確認予定(①～⑥)箇所位置図

別紙-3

- ①立野ダム建設現場及び周辺の視察
(リムトンネル現場、仮橋上からダム建設地及び柱状節理、転流トンネル等)
- ②河床部(崖部)に露頭している断層
- ③旧村道上に露頭している断層
(看板除幕式会場)
- ④実生の森プロジェクト育苗箇所
- ⑤犀角山トンネル 第一白川橋梁
- ⑥アソシエイト展望所

